



全員で運営する組合を目指すことを確認した総会

県解体組合

市原理事長が再任

全員参加の組合目指す

県解体工事業者協同組合の第39回通常総会が千葉市内で開かれ、2024年度の事業計画など8議案を審議した。任期満了による役員改選では理事長に市原照公氏(大同産業)が再任された。市原理事長は、「透明性の高い組織として、全員で運営する組合にしたい。皆さんにもぜひ参加してい



市原理事長

ただき、さまざまな意見を聞かせてほしい」と協力を呼びかけた。市原理事長は、コロナウィルスの5類移行に伴って4年ぶりに各種技術講習会を開催できたことに喜びを示した。また、組合運営にあたって昨年度から取り組んでいる、「事業委員会や施工委員会などが中心となって企画立案し、理事会で決議する」という手法が軌道に乗ってきた」と自信をのぞかせた。

議事では23年度の事業

報告や決算報告、24年度の事業計画案や予算、役員改選など8議案が審議され、全て原案どおり承認された。

再任された市原理事長は「解体工事業は空き家対策や公共施設の建て替えなど、社会インフラの維持に必要な業種とみなされているが、AIによる解体工事の試算サービスが報道されるなど、受注環境や価格競争が厳しくなることも予想される。当組合が高い技術を持つ専門家集団であるとの認

知度を上げ、分離発注の実現と元請け受注の向上を目指し、行政機関に働きかけたい」と抱負を述べた。

同組合は、九都県市合同防災訓練で重機による倒壊建築物撤去の実演や千葉ポートパークでのごみ拾いなど、解体工事業の広報や社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

員らが参加。自らの経験を踏まえ、消防隊員にスコップやハンマーなどの使い方をレクチャーするなど、新たな試みも行っている。

承認された役員人事は次の通り(敬称略、順不同)。

- ▽理事長＝市原照公(大同産業)
- ▽副理事長＝梶原廣義(三勢)
- ▽理事＝安藝真一(ハマタ)、池澤祥三(小見解体)、池田太一(イケタ)、佐藤史健(真工業)、水間純(水間建設工業)、山田優一(山田建設)、米山清(米山興業)、内木角栄(ナイキ)、秋野良夫(組合事務局)
- ▽監事＝櫻井聖也(聖和興業)